

平成27年度 指定管理者施設管理評価シート

部 文化産業観光部 課 文化振興課

施設名称	〔8〕 東京都台東区立書道博物館					
指定管理者の名称	公益財団法人台東区芸術文化財団	指定期間	H27.4.1 ~ H32.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	芸術文化、区民文化、スポーツ文化に関する事業の実施 芸術・文化・スポーツ施設の管理運営					
(2)類似施設の管理実績	文化施設5箇所					
(3)経営状況	26年度決算 歳入 619,585,367円 歳出 546,711,643円 収支差額 72,873,724円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区根岸2-10-4					
(2)設置目的	洋画家でもあり書家でもあった中村不折が開設した書道博物館は、開館以来60年にわたり中村家が運営してきたが、平成7年に区が寄贈を受けた。不折の作品及び書道に関する収集品を広く一般に展示公開し、区民文化の振興を図る。					
(3)利用者	区民ほか					
(4)開館日・時間	開館日：休館日（月曜日/12月29日～1月3日/特別整理期間等）を除く 開館時間：午前9時30分～午後4時30分（入館は午後4時まで）					
(5)規模	延べ床面積 1,032.38㎡（蔵）16.52㎡ R C造 平屋建（本館）247.93㎡ R C造 2階建て 第1～5展示室（中村不折記念館）764.83㎡ R C造 3階建て エントランスルーム、展示フロアー、特別展示室、中村不折記念館、会議室、事務室など					
(6)人員体制	7名 常勤固有職員（1）派遣職員（1）再雇用（1）財団嘱託員（1） 研究員（2）専門員（1）					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	博物館資料の保管及び展示、博物館資料に関する調査及び研究などの事業 施設・付帯設備及び物品の保全・調整、施設内の清潔整頓、その他環境整備等の事業。施設使用料徴収などの事業。					
(2)自主事業	特別展「趙之謙の書画と北魏の書」、企画展「中村不折-僕の歩いた道-」、中村不折コレクション「美しい隷書-中国と日本-」・「不折の愛した中国・南北朝時代の書-439年から589年、王朝の興亡を越えて-」					
4. 予算決算の推移						
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算	委託料	42,285,000	32,906,000	30,152,000	22,651,000	26,446,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	42,285,000	32,906,000	30,152,000	22,651,000	26,446,000
決算	委託料	41,048,569	32,335,170	28,325,400	21,873,371	26,347,104
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	41,048,569	32,335,170	28,325,400	21,873,371	26,347,104
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	
開館日数	日	281	274	266	272	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値 （28年度）	24年度	25年度	26年度	
入館者数	人	14,000	14,955	12,525	13,442	

7. 平成26年度評価結果に対する現在までの取組み

入館者数の回復に向け、メールマガジン配信や雨の日のギャラリートーク参加者への絵葉書プレゼントに加え、桜の時期の臨時開館を実施し、来館者サービスの向上を図った。また、貴重な資料を多数保有する利点を活かした東京国立博物館との連携事業の特別展は好評を博し、入館者数を伸ばした。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。
 2：協定等の水準どおりである。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。
 0：協定等の水準を下回っている。
 -：評価対象外項目。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.2]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [3]	(b)サービス水準 [2]	(g)自主事業の成果 [3]
	(c)職員配置 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [2]
	(e)案内・接遇 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.2]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [3]
	(c)利用者数等の目標達成 [2]			
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(b)管理経費の効率化 [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	S	新しい試みとして桜の時期の臨時開館を行い、企画展示を楽しんでもらうと同時に、中庭の桜も鑑賞していただけるよう、来館者サービスの向上を図った。
(2)施設の維持管理	A	経費を最小限に抑えながら、貴重な資料の保存・保護のために区と連絡をとりつつ、環境保全や計画的な修理を進めている。また、中庭の蔵を含めた施設全体の修繕についても、小まめに報告があり、適切な管理運営が行われている。
(3)利用者の満足度	S	東京国立博物館との連携事業は貴重な資料が見られる展示として評判が高く、入館者数は前年度を上回った。また教育委員会と連携した学びのキャンパスプランニング事業は漢字の成り立ちがよくわかるとして幼稚園・保育園からも希望があり、実施回数は増となった。
(4)収入支出	A	計画的に作品等の修復を進めており、適正に予算の執行がなされている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

良好	桜の時期の臨時開館など新しい試みで来館者サービス向上を図っている。また、東京国立博物館との連携事業は貴重な資料を多数保有する施設の利点を活かしており、入館者数は前年を上回った。
-----------	--

11. 平成27年度評価結果に対する今後の対応

今後も貴重な資料を多数保有する施設の利点を活かし、魅力ある企画展示や連携事業に取り組んでいく。また、年間パスポート発行や半券割引サービス開始しており、特に年間パスポートについてはリピーターの多い当館では大変人気となっているため、より効果的にPRを行ない来館者サービスの向上を目指す。